



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 フマキラー株式会社

上場取引所 東

コード番号 4998 URL <http://www.fumakilla.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下 一明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小谷 真弘

TEL 0829-55-2112

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	8,549	△8.6	1,131	△14.0	1,101	△15.7	629	△10.8
24年3月期第1四半期	9,352	6.3	1,315	51.2	1,307	67.6	705	57.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 603百万円 (△30.2%) 24年3月期第1四半期 864百万円 (121.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	19.16	—
24年3月期第1四半期	21.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	21,381	7,727	34.3	223.16
24年3月期	22,807	7,279	30.2	209.78

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 7,328百万円 24年3月期 6,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	4.00	4.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,100	8.0	1,330	65.9	1,320	65.4	760	105.0	23.14
通期	23,600	10.9	790	—	790	—	330	—	10.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細につきましては、添付資料の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	32,980,000 株	24年3月期	32,980,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	137,986 株	24年3月期	137,986 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	32,842,014 株	24年3月期1Q	32,842,304 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当資料における業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定の要素を含んでいます。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値とは異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的な情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9
5. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 海外売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(単位：百万円)

指標等	24年3月期 第1四半期累計	25年3月期 第1四半期累計	増減額	増減率 (%)
売上高	9,352	8,549	△802	△8.6
営業利益	1,315	1,131	△184	△14.0
経常利益	1,307	1,101	△205	△15.7
四半期純利益	705	629	△76	△10.8
1株当たり四半期純利益	21円 49銭	19円 16銭		

(当期の経営成績)

当第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)におけるわが国の経済は、緩やかな景気の持ち直しの動きがあるものの、欧州債務危機や円高の長期化などにより依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、経営理念である「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。」の精神のもとに、コア事業の殺虫剤・家庭用品・園芸用品の成長カテゴリー市場を牽引する新価値創造商品を積極的に投入し、既存事業の強化を図るとともに、販売効率の向上・在庫削減・コストダウン等への取り組みによる収益力強化、及び海外事業の拡大強化等の課題に努めてまいりました。

しかしながら、国内売上につきましては、主力の殺虫剤及び園芸用品が天候不順の影響により市場が縮小したことや、価格競争の激化による販売価格の下落等により売上が減少した結果、国内合計では前年同期比8.5%減の73億5百万円となりました。一方、海外売上につきましては、インドネシアの売上は現地通貨ベースでは前期並となりましたが、欧州地域及び中近東地域の売上が減少し、また為替の影響も受けたため、円価ベースでは前年同期比8.9%減の12億44百万円となりました。その結果、売上高は前年同期比8.6%減の85億49百万円となりました。

売上原価は、前年同期より3億64百万円減少し53億46百万円となりました。売上原価率は62.5%で、前年同期より1.4ポイント増となりました。

これらの結果、売上総利益は32億3百万円(前年同期比12.0%減)となり、返品調整引当金繰入後の差引売上総利益は29億74百万円(前年同期比15.7%減)となりました。

販売費及び一般管理費は前年同期比16.7%減の18億43百万円となり、営業利益は11億31百万円(前年同期比14.0%減)、経常利益は11億1百万円(前年同期比15.7%減)、四半期純利益は6億29百万円(前年同期比10.8%減)の減益となりました。

なお、当社グループは、殺虫剤の売上構成比が高いため、売上高は上半期を中心に多く計上されるという季節変動要因をかかえております。一方、人件費や諸経費(広告宣伝費のような政策費を除く)は固定費として、年間を通じてほぼ均等に発生するため、事業年度の四半期毎の売上高や利益には著しい相違があります。

次に、商品部門別の概況についてご報告申し上げます。

(単位：百万円)

	24年3月期 第1四半期累計	25年3月期 第1四半期累計	増減額	増減率 (%)
殺虫剤	8,233	7,155	△1,078	△13.1
家庭用品	△345	△65	280	—
園芸用品	751	692	△58	△7.8
防疫剤	386	400	14	3.7
その他	326	366	39	12.2
合計	9,352	8,549	△802	△8.6

殺虫剤部門につきましては、国内で需要が拡大しているワンプッシュ式蚊取り、不快害虫用製品、設置型虫よけなどの成長カテゴリー市場に、ワンプッシュ式の次世代蚊取り「おすだけベープ クリスタ」、不快害虫用製品「虫よけバリア ブラック アミ戸にピタッ!」、設置型虫よけ「虫よけバリア ブラック」等の新製品を投入した結果、これらの新製品が売上に寄与いたしました。6月の天候不順の影響を受けて殺虫剤市場が大きく縮小した

ため、殺虫剤全体の売上が伸び悩みました。一方、海外におきましては、フマキラーインドネシア（株）が現地通貨で前期並みの売上となりましたが、為替の影響を受け、国内及び海外の殺虫剤合計の連結売上高は前年同期比13.1%減の71億55百万円（前年同期比10億78百万円減）となりました。

家庭用品部門につきましては、アルコール関連商品が堅調に推移し、前期に販売した花粉関連商品の返品が大幅に減ったこともあり、家庭用品合計の売上高は65百万円のマイナス（前年同期は3億45百万円のマイナス）となりました。

園芸用品部門につきましては、出荷ベースでは順調に推移しましたが、価格競争激化による販売価格の下落などにより園芸用品合計の売上高は前年同期比7.8%減の6億92百万円（前年同期比58百万円減）となりました。

防疫剤部門は4億円（前年同期比14百万円増、3.7%増）、その他の部門は3億66百万円（前年同期比39百万円増、12.2%増）でそれぞれ増収となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末に比べて14億25百万円減少し、213億81百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が1億38百万円増加したことや、繰延税金資産が1億78百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が12億28百万円、たな卸資産が1億22百万円、投資有価証券が1億98百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べて18億73百万円減少し136億53百万円となりました。主な要因は電子記録債務が18億44百万円、未払法人税等が5億40百万円、未払金が4億32百万円それぞれ増加した一方で、支払手形及び買掛金が1億25百万円、短期借入金が46億96百万円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べて4億48百万円増加し77億27百万円となりました。なお自己資本比率は4.1ポイント増加し34.3%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想に関しましては平成24年5月11日の決算発表時点と変更はありません。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,453,622	2,592,433
受取手形及び売掛金	7,169,385	5,940,630
商品及び製品	3,702,090	3,850,349
仕掛品	909,109	878,360
原材料及び貯蔵品	1,502,916	1,262,695
その他	907,223	900,899
貸倒引当金	△1,205	△1,474
流動資産合計	16,643,142	15,423,895
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,092,683	1,087,767
機械装置及び運搬具（純額）	1,020,767	974,658
工具、器具及び備品（純額）	162,970	147,333
土地	634,054	634,054
リース資産（純額）	18,238	17,079
建設仮勘定	24,821	34,484
有形固定資産合計	2,953,536	2,895,377
無形固定資産	139,165	140,328
投資その他の資産		
投資有価証券	2,599,582	2,401,500
長期貸付金	243	1,804
その他	487,320	551,211
貸倒引当金	△20,456	△36,456
投資その他の資産合計	3,066,690	2,918,059
固定資産合計	6,159,392	5,953,765
繰延資産		
株式交付費	4,718	3,707
繰延資産合計	4,718	3,707
資産合計	22,807,253	21,381,367

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,828,926	3,703,560
電子記録債務	415,693	2,260,442
短期借入金	7,754,589	3,057,834
リース債務	4,635	4,635
未払法人税等	68,969	609,297
賞与引当金	211,599	84,523
売上割戻引当金	188,394	437,107
返品調整引当金	352,840	581,483
その他	1,776,605	1,995,717
流動負債合計	14,602,253	12,734,601
固定負債		
リース債務	13,603	12,444
退職給付引当金	249,230	283,054
役員退職慰労引当金	458,960	429,040
資産除去債務	8,497	8,537
その他	194,989	185,867
固定負債合計	925,281	918,944
負債合計	15,527,535	13,653,546
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,698,680	3,698,680
資本剰余金	2,105,770	2,105,770
利益剰余金	1,463,489	1,961,456
自己株式	△40,785	△40,785
株主資本合計	7,227,154	7,725,121
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,219	△85,054
為替換算調整勘定	△361,664	△311,080
その他の包括利益累計額合計	△337,445	△396,135
少数株主持分	390,008	398,834
純資産合計	7,279,718	7,727,821
負債純資産合計	22,807,253	21,381,367

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	9,352,154	8,549,568
売上原価	5,711,338	5,346,489
売上総利益	3,640,815	3,203,079
返品調整引当金戻入額	422,959	213,155
返品調整引当金繰入額	534,848	441,797
差引売上総利益	3,528,926	2,974,436
販売費及び一般管理費	2,213,500	1,843,209
営業利益	1,315,425	1,131,227
営業外収益		
受取利息	1,415	2,268
受取配当金	27,062	28,620
その他	18,625	24,733
営業外収益合計	47,103	55,621
営業外費用		
支払利息	9,248	12,614
売上割引	39,009	36,338
その他	6,977	36,048
営業外費用合計	55,235	85,000
経常利益	1,307,293	1,101,847
特別利益		
固定資産売却益	437	—
負ののれん発生益	—	1,464
特別利益合計	437	1,464
特別損失		
固定資産売却損	—	138
固定資産除却損	125	—
投資有価証券評価損	21,828	14,760
その他	4,300	—
特別損失合計	26,253	14,898
税金等調整前四半期純利益	1,281,476	1,088,413
法人税、住民税及び事業税	730,033	608,348
法人税等調整額	△184,628	△173,778
法人税等合計	545,405	434,570
少数株主損益調整前四半期純利益	736,071	653,842
少数株主利益	30,420	24,507
四半期純利益	705,651	629,335

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	736,071	653,842
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	70,750	△109,273
為替換算調整勘定	57,983	58,705
その他の包括利益合計	128,733	△50,568
四半期包括利益	864,805	603,274
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	826,011	570,645
少数株主に係る四半期包括利益	38,793	32,629

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関である役員会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループの事業は、殺虫剤、園芸用品、家庭用品及び防疫用剤の製造・販売を主な事業内容とする単一事業であり、各グループ会社において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、製造販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「インドネシア」、「その他」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

	報告セグメント			その他（注） （千円）	合計 （千円）
	日本 （千円）	インドネシア （千円）	計 （千円）		
売上高					
外部顧客に対する売上高	8,241,877	1,030,270	9,272,148	80,006	9,352,154
セグメント間の内部売上高又は振替高	180,840	208,485	389,326	—	389,326
計	8,422,718	1,238,755	9,661,474	80,006	9,741,480
セグメント利益又は損失（△）	1,112,034	175,922	1,287,957	△5,416	1,282,540

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳（差異調整に関する事項）

利 益	金 額 （千円）
報告セグメント計	1,287,957
「その他」の区分の損失	△5,416
セグメント間取引消去	33,368
その他の調整額	△483
四半期連結損益計算書の営業利益	1,315,425

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関である役員会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループの事業は、殺虫剤、園芸用品、家庭用品及び防疫用剤の製造・販売を主な事業内容とする単一事業であり、各グループ会社において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、製造販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「インドネシア」、「その他」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

	報告セグメント			その他（注） （千円）	合計 （千円）
	日本 （千円）	インドネシア （千円）	計 （千円）		
売上高					
外部顧客に対する売上高	7,500,090	970,612	8,470,703	78,865	8,549,568
セグメント間の内部売上高又は振替高	196,221	186,561	382,783	—	382,783
計	7,696,312	1,157,174	8,853,486	78,865	8,932,351
セグメント利益又は損失（△）	985,965	117,435	1,103,401	△5,906	1,097,494

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでいます。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳（差異調整に関する事項）

利 益	金 額 （千円）
報告セグメント計	1,103,401
「その他」の区分の損失	△5,906
セグメント間取引消去	34,151
その他の調整額	△418
四半期連結損益計算書の営業利益	1,131,227

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 販売実績

(千円)

事業区分	前第1四半期連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	
	金額	構成比 %
殺虫剤	8,233,677	88.1
家庭用品	△345,933	△3.7
園芸用品	751,883	8.0
防疫剤	386,330	4.1
その他	326,195	3.5
合計	9,352,154	100.0

事業区分	当第1四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	
	金額	構成比 %
殺虫剤	7,155,102	83.7
家庭用品	△65,285	△0.8
園芸用品	692,943	8.1
防疫剤	400,694	4.7
その他	366,114	4.3
合計	8,549,568	100.0

事業区分	前連結会計年度 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日	
	金額	構成比 %
殺虫剤	15,237,279	71.6
家庭用品	1,125,443	5.3
園芸用品	2,044,869	9.6
防疫剤	1,452,357	6.8
その他	1,413,966	6.7
合計	21,273,916	100.0

(注) 金額は純売上高(消費税等抜き)によっております。

(2) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（千円）	1,107,621	257,746	1,365,367
II 連結売上高（千円）	—	—	9,352,154
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	11.8	2.8	14.6

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア : マレーシア、インドネシア、インド
 (2) その他の地域 : メキシコ、イタリア
 3. 海外売上高は、親会社及び本国に所在する連結子会社の輸出高並びに、本国以外の国に所在する連結子会社の売上高の合計額（ただし、連結会社間の内部売上高を除く）であります。

当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	1,042,070	202,393	1,244,463
II 連結売上高（千円）	—	—	8,549,568
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	12.2	2.4	14.6

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア : マレーシア、インドネシア、インド
 (2) その他の地域 : メキシコ、イタリア
 3. 海外売上高は、親会社及び本国に所在する連結子会社の輸出高並びに、本国以外の国に所在する連結子会社の売上高の合計額（ただし、連結会社間の内部売上高を除く）であります。